

PTA新聞(広報紙)	～しらさぎはPTA活動について皆さんに知っていただくための広報紙です～
しらさぎ	発行 道後小PTAニュースクラブ
	赤上 井上 猪花 梅田 大亀 串部 坂元 西村 松本 三木 山田 三好 他 しらさぎ責任者一同
H 29年度 第1号 10月発行	道後小 PTA ホームページも合わせてご覧ください。

第1回 PTA ふれあい講座(家庭教育部)  
5月26日



本年度赴任された、鶴久森 克校長 先生の講座が開かれ、49名の保護者が参加しました。

テーマは「つながることの楽しさ」です。ゲームあり、家庭教育につながる有意義なお話があり、楽しい講座でした。

校長先生は、青年の家などで社会教育主事をされていた時に、学校教育の現場だけでは得がたい多様なご縁を結ばれ、「つながる力」の価値を感じられたそうです。

また、社会教育研修や野外活動の参加者が、様々な体験を通じて積極的になるなど力強く変化する姿を目にされたこと

から、「子どもたちには、たくさんの体験や経験をしてほしい。特に失敗体験は大事で、挫折から再チャレンジして成功する過程を味わうことで強さが身につく。」とおっしゃっていました。

参加者からは「楽しくゲームをすることで、新しいつながりができた。」「いろんな体験をして経験値を上げるという話が心に残った。」「失敗体験から成功へ導くことが子どもの力になると実感した。」との声が聞かれました。



給食試食会(学校教育部)  
5月29日・30日

1年生の保護者を対象に給食試食会が行われました。今年度は5月29日・30日の2日間にわたっての開催で、取材をした29日は約45名が参加しました。



【管理栄養教諭の講座】

給食ができるまでの流れや、安心・安全のこだわりについてご紹介いただきました。ごはんには中予産のお米「ヒノヒカリ」「にこまる」が用いられ、11月には収穫したばかりの新米が使われます。

季節の行事食、味めぐり、旬の食材、地産地消の取り組みなどが給食の献立に取り入れられています。

参加者からは「とても衛生的な環境で調理されていることがわかり、安心した。」「子どもと同じ給食を食べてみることで、親子の会話のきっかけになりそう。」「おひたしはごまの風味が良く食べやすかった。野菜を多く摂れると実感したので、家庭でも参考にしたい。」との感想が聞かれました。



この日の献立は「味めぐり」。千葉県特産の「いわし」を使った「小さいわしの唐揚げ」でした。ごはんの量は、普段3・4年生が食べている75g。パンやごはんなどの主食の量は、低学年・中学年・高学年で少しずつ異なります。

地区集会(社会教育部)  
7月10日

7月10日、約70人の保護者が集まって、地区集会を行いました。

危険箇所や不審者などの情報を出し合い、地図に書き込んで発表しました。

参加者からは「知らないことも多かった。」という声が多く聞かれました。

社会教育部の皆さんが、一つのマップにまとめたものを校舎1階に掲示してあります。皆さん、ぜひ一度、マップをご確認ください。



【今年、特に気になったのはこんな情報です】  
・石手寺周辺に新しい駐車場や店舗ができ、車の流れが変わった上、通行量も増えた。

救命講習会(学校教育部)

7月2日・3日・5日



夏休みのプール解放を控え希望者を対象に救命講習会が開かれました。松山東消防署救急隊を講師に迎え、112名の保肺蘇生・AEDの使用法などの救命処置や応急手当について暑な眼差しで学びました。らは「わかりやすく教えていただきよかった。」「AEDが音声付きだったので、いざと言うときでも使えそう。」などの感想が聞かれました。育部員さんからは「プール利用者の保護者の方だけではなく、よりに受講して頂きたいです。」とのことでした。



保護者が心  
い中、真剣  
参加者か  
は知らな  
学校教  
沢山の方



夏休みプール開放(PTA執行部)

7月25日～28日 計4日間

4日間での参加児童申込数は児童クラブを含め323名。取材を行った26日は74名の児童が参加しました。監視をされた保護者からは「監視ポイント、人数が多いので安心してプール遊びができる。」「プールサイドにビニールプールを置いてくれているので下の子も連れて来られる。」といった声が聞かれました。皆さん、暑い中ありがとうございました。



執行部による水温・水質検査



おやじの会による準備体操



参加児童保護者を含めた皆さんで9か所のポイントから監視



PTA執行部による参加児童受付

学校でキャンプ in 道後(キャンプ実行委員会・おやじの会)

7月22日・23日



今年も夏休みに「学校でキャンプ in 道後」が開催されました。参加した児童304名と保護者、先生、おやじの会、愛大防災リーダー、PTAボランティアなど総勢約509名が参加しました。

【5・6年生のダンボールテント作り】

眩しい陽射しが照りつけるグラウンドではテント作りが行われ、全部で立派なテントが完成しました。

6年生の女の子は「ガムテープを張り合わせるのが大変だった！ダン上は熱くて作業が辛かったが、小学生最後の夏休みの良い思い出にと話してくれました。

1つのテントの中に5～6人で寝ます。朝方になると冷えるそうで「寝袋きました！」と教えてくれました。



17基の  
ボールの  
なった！  
を持って



【体育館】

工作のコーナーでは、男の子に人気だったのが「わりばしてっぽう」です。作り方の紙と道具が用意されており、わからないときは、聞きに行くと丁寧に教えてくださっていました。「インディアンクロス」は女の子に人気で、割り箸に毛糸を巻きつけて作ります。参加者からは「部屋に飾るのが楽しみです！」と話してくれました。

【めざせ！道後小学校 防災キッズ】

スタートからゴールまで10か所のスタンプラリーで、防災について学びながら校舎の中を回ります。愛媛大学の学生さんに防災についていろいろと教えていただきました。

図工室では、新聞やビニール袋から作る防災グッズ作りが行われていました。新聞スリッパを作っていた子どもは「難しかったけど、しっかり覚えておきたいです。」と話してくれました。いろんなことを体験し、改めて防災について意識を高めて考えることができました。



【キーマカレー作り】

今年は、子どもたちと大人がペアになり、キーマカレー作りを楽しみました。3年生の子どもたちが47名参加して作りました。



点火に手間取り焦りました  
(校長先生)



お手伝いくださった先生、おやじの会、ボランティアの皆さん、暑い中お疲れ様でした。